

エコアクション21

環境経営活動レポート

(54期：2021年11月1日～2022年10月31日)



発行 2023年1月31日
(改訂 2023年6月22日)



OSUMI
株式会社オオスミ

目次

1. 組織の概要	3
2. 環境方針	6
3. 中長期環境目標（全社）	7
4. 環境目標とその実績	8
5. 環境活動計画及びその取組結果と評価・次年度の取組	10
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	11
7. オオスミ環境等活動の概要	12
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	19

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者氏名

株式会社 オオスミ

代表取締役 大角 武志



(2) 所在地（認証・登録範囲）

本 社 神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町20番地17

TEL：045-924-1050（代）

FAX：045-924-1055

東京支店 東京都千代田区神田猿楽町二丁目1番14号

川崎支店 川崎市宮前区鷺沼3-1-37

大和支店 大和市福田2丁目25番地1

福島支店 福島県郡山市富田町字稲川原67番地

千葉営業所 千葉県鎌ヶ谷市西道野辺13-41-101

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 高橋 正一

TEL：045-924-1050

FAX：045-924-1055

(4) 事業の規模

資本金：3,000万円

工事の件数：2件

従業員：126名

(5) 事業活動の内容

環境分析・測定・調査及び企画・コンサルティング、工業薬品販売
 建設工事(汚染土壌除去工事、アスベスト除去工事)
 U R L : <https://www.o-smi.co.jp/>

私たちは地球環境を見守るプロフェッショナルです。

調査、測定、分析、コンサルティング、対策。
 確かなプロセスを踏み、あらゆる環境問題への答えを探ります。



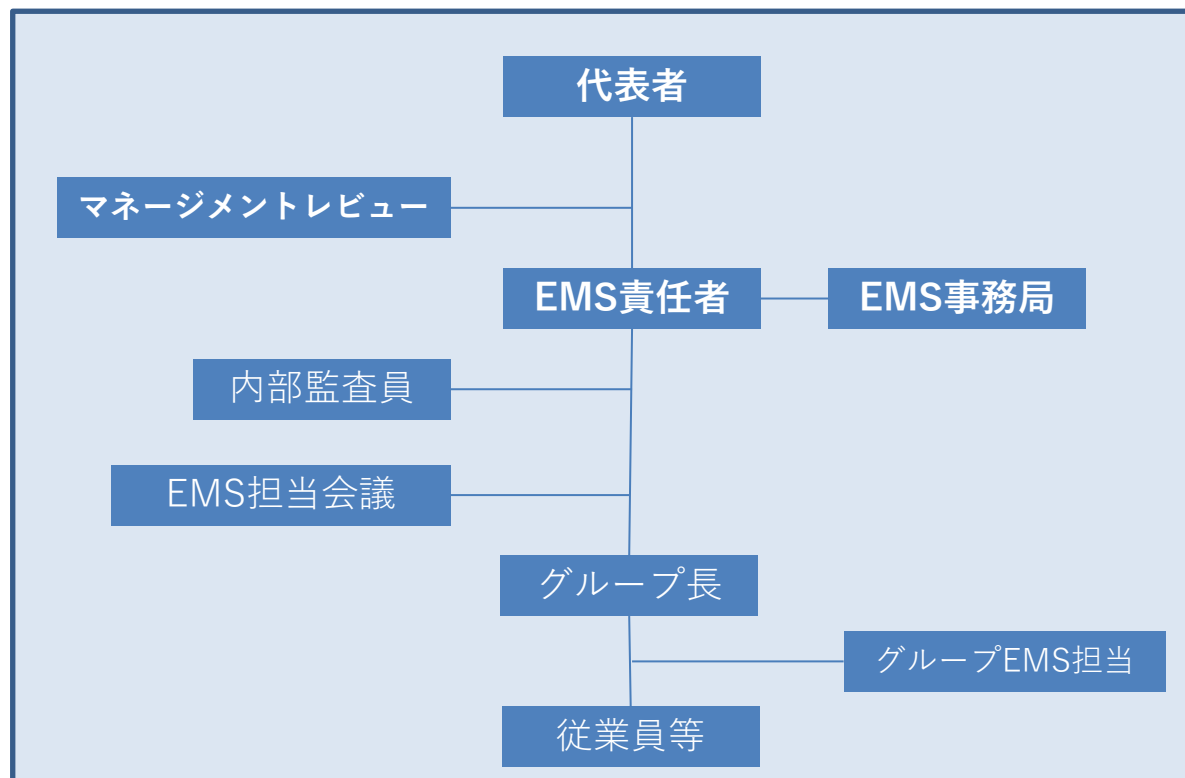
膨大なソリューションで、地球環境を見守ります。

5つの「事業分野」に対し、「企画提案、セミナー、コンサル」
 「調査、測定、分析」「対策、工事、販売」という3つの段階でアプローチ可能です。

A	環境保全事業	水、土壌、大気、騒音・振動、アスベスト、PCB、マイクロプラスチック等
B	労働安全衛生型環境事業	作業環境測定、個人暴露測定等
C	コンサルティング	環境法令対策支援、省エネ診断、CO2削減支援
D	製品・材料試験事業	材料・異物分析、受託・研究、ゆあらぼ、こらぼ等
E	環境関連商品等販売事業	化学工業薬品、環境関連商品、省エネ対策商品等



(6) エコアクション21組織図



(7) 各種許認可・登録

計量証明事業登録（濃度） 神奈川県第18号

計量証明事業登録（音圧レベル） 神奈川県第29号

計量証明事業登録（振動加速度レベル） 神奈川県第11号

作業環境測定機関登録 神奈川労働局14-18

建設コンサルタント登録（土質及び基礎部門） 建03第9793号

土壤汚染対策法に基づく指定調査機関登録<環境省> 指定番号 2020 -3- 0008号

建築物飲料水水質検査業登録 横浜市23水第0002号

建築物空気環境測定業務登録 横浜市22空第0025号

毒物劇物一般販売業登録 第51150012号（本社）・第09510065号（大和支店）

一般建設業許可（土木工事業、石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、解体工事業、とび・土工事業、舗装工事業、水道施設工事業）神奈川県知事 許可（般-3）第84595号

ISO9001：2015/JIS Q 9 001:2015 登録番号4909

エコアクション21 認証・登録番号0010719

2. 環境方針

オオスミ環境方針

1. 私たちは使命※を掲げ、仕事を通して顧客及び地球環境に貢献します。
2. 私たちは環境や安全に関する法令や決まりごとを順守し、環境汚染の防止と環境負荷の低減を図り、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、カーボンニュートラルに取り組めます。
3. 私たちは、オオスミで働く全ての人が環境への高い意識を持ち続け、環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動します。

2022年11月1日

株式会社オオスミ

代表取締役 大角 武志

※ 使命：「私たちは 地球に暮らす人々に
『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」



OSUMI
私たちは地球のドクター

3. 中長期環境目標（全社）

環境目標	基準年 (52期実績)	53期 (目標：基準年1%削減)	54期 (目標：基準年2%削減)	55期 (目標：基準年3%削減)
	2019年11月～2020年10月	2020年11月～2021年10月	2021年11月～2022年10月	2022年11月～2023年10月
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大(全社売上計画100%遂行)	100%	100%	100%	100%
1-(2)「省エネ」等環境改善に繋がる売上計画100%遂行	100%	100%	100%	100%
2-(1)化学物質の適正管理	分析内容ごとに化学物質の使用量は決められているため、削減目標数値は設定せず適正管理活動の計画を目標とする。			
2-(2)廃棄物の適正管理	当社は環境計量証明業であり、分析に必要な量を減らす目標設定は合理性を欠くため、適正管理活動の計画を目標とする。			
2-(3)-①紙の使用量の削減	6,684 kg	6,617 kg	6,550 kg	6,379 kg
2-(3)-②水使用量の削減	3,351 m ³	3,317 m ³	3,284 m ³	3,250 m ³
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」
2-(5)CO ₂ 排出量※	282,530 kg-CO ₂	279,705 kg-CO ₂	276,879 kg-CO ₂	274,054 kg-CO ₂
2-(5)-①電力使用量の削減	442,577 kWh	438,151 kWh	433,725 kWh	429,300 kWh
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	2,128 Nm ³	2,107 Nm ³	2,085 Nm ³	2,064 Nm ³
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	21,892 L	21,673 L	21,454 L	21,235 L
2-(5)-④軽油使用量の削減	7,192 L	7,120 L	7,048 L	6,976 L
2-(6)グリーン購入の推進	62.8 %	63.4 %	64.0 %	64.6 %
3.環境に関する取組の向上	・ホームページPR ・社内外の教育訓練 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動への参加 ・環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・エコにつながるオオスミ風呂敷を皆で活用する ・客先訪問時のPR実施 など			
4.工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮

備考：※購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エネルギーパートナー(株)（平成30年度）の0.468 k g - C O₂を使用しています。

4. 環境目標とその実績-1

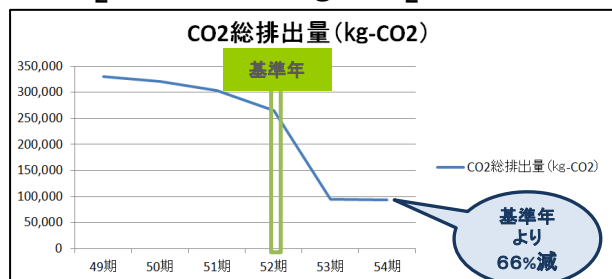
凡例：○：目標達成 ×：目標未達成

環境 目標	取組とその評価（2021年11月～2022年10月）		
	目標 54期	実績 54期	達成区分
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大 (全社売上計画100%遂行)	100%	105%	○
1-(2)「省エネ」売上計画100%遂行	100%	76%	×
2-(1)化学物質の適正管理	・試薬管理システムを活用し見える化を進める ・試薬管理の運用見直し ・勉強会の実施	・試薬管理システムを活用し見える化を進める ・試薬管理の運用見直し ・勉強会の実施	○
2-(2)廃棄物の適正管理	・廃棄物管理の整備・規定見直し ・ルールブック活用、分別の明確化及び徹底により、ゴミの減量化を進める	・廃棄物管理の整備・規定見直し ・ルールブック活用、分別の明確化及び徹底により、ゴミの減量化を進める	○
2-(3)-①紙の使用量の削減	6,550kg	5,292Kg	○
2-(3)-②水使用量の削減	3,284 m ³	2,943 m ³	○
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	○
2-(5)CO ₂ 排出量※	276,879kg-CO ₂	93,906kg-CO ₂	○
2-(5)-①電力使用量の削減	433,725kWh	451,798kWh	×
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	2,085Nm ³	1,920Nm ³	○
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	21,454L	22,357L	×
2-(5)-④軽油使用量の削減	7,048L	8,144L	×
2-(6)グリーン購入の推進	64.0%	46.8%	×
3.環境に関する取組の向上	・ホームページ等PR ・社内外の環境教育 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動 ・eco検定全員受験 ・脱プラに繋がる事務用品の導入	・ホームページ等PR ・社内外の環境教育 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動 ・eco検定全員受験 ・脱プラに繋がる事務用品の導入	○
4.工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	○

備考：※購入電力の二酸化炭素排出係数は、本社はみんな電力（平成30年度）0kg-CO₂、東京支店は東京電力エナジーパートナー（株）（平成30年度）の0.468kg-CO₂を使用しています。

4. 環境目標とその実績-2

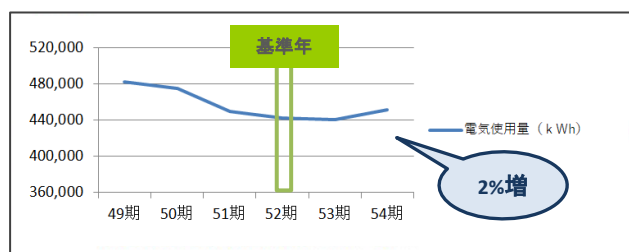
CO₂総排出量 (kg-CO₂)



53期より、本社使用電力が再生可能エネルギー100%になりました。

基準年と比較して54期は
CO₂排出削減率66%を達成！！
杉の木換算約13,248本分の
CO₂削減効果となりました！

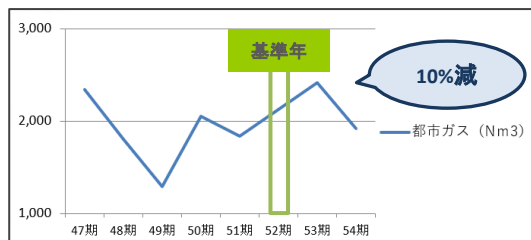
電気使用量推移 (kWh)



49期より減少傾向であったが、新ラボを建設したことにより、電気使用量が増加しています。
本格稼働する来期の増加が予想されます。

54期CO₂排出量に対する比率 16%

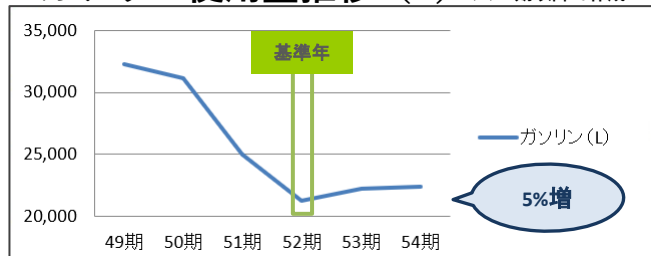
都市ガス使用量推移 (Nm³)



49期までは順調に使用量が削減できていましたが、その後増減があります。
新ラボ建設に伴い電氣化したため、来期の減少が予想されます。

54期CO₂排出量に対する比率 6%

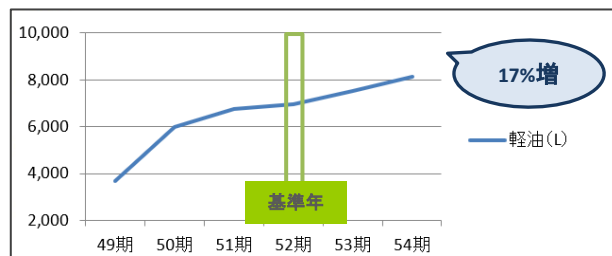
ガソリン使用量推移 (L) ※49期以降で作成



49期から社用車の相乗り、アイドリングストップ、ハイブリット車への変更等の施策により、順調に使用量が削減できていました。53期、54期は仕事量の変化等により若干の使用量増となりました。

54期CO₂排出量に対する比率 55%

軽油使用量推移 (L) ※49期以降で作成



49期から毎年使用量が増加しています。主な要因は、遠方における調査が増加し、移動距離が増加したことと推測します。
現在、車ごとの燃費について調査中です。

54期CO₂排出量に対する比率 23%

5. 環境活動計画及びその取組結果と評価・次年度の取組

凡例： ○：取組実施又は達成 △：一部取組 ×：取組未実施

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度（55期）の取り組み内容
1	省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大	各グループ計画の遂行	コロナの影響が今年も引き続きあり、目標達成ができない商品もあったが、主力案件獲得を目指した結果、全社的に目標を上回った	○	各グループ計画の遂行
		関係グループでの取組	土壌対策については目標を下回ったが、省エネ診断は受注活動が実り、目標を上回った	△	関係グループでの取組
2-(1)	使用化学物質の種類と量の把握及び適正な保管状況の維持	・試薬管理システムを活用し見える化を進める ・試薬管理の運用見直し ・勉強会の実施	・試薬管理システムを活用して、見える化を図った ・化学物質に関する分析技術G勉強会の実施(年2回)	○	・試薬管理システムの適正運用 ・化学物質のリスクアセスメントの実施 ・化学物質に関する勉強会の実施
2-(2)	廃棄物の適正管理	産業廃棄物の適正管理 ・廃棄物管理の整備・規定見直し ・ルールブック活用、分別の明確化及び徹底により、ゴミの減量化を進める	・廃棄物管理の整備・規定見直しした ・ルールブック活用、分別の明確化を行った	○	・廃棄物管理を継続的に行う ・リサイクル分別の明確化及び徹底により、ゴミの減量化を進める
2-(3)	資源の効率的利用	①紙使用量の削減 ・保管文書や報告書チェックのペーパーレス化推進 など ・使用状況の見える化	・保管文書、報告書チェックのペーパーレス化を行った ・各グループ、紙の使用状況の見える化を行った	○	・DWの活用による報告書チェックのペーパーレス化推進など ・全社による使用状況の見える化
		②水使用量の削減 ・節水に取り組む ・雨水貯蔵タンクを設置し散水等への活用を進める	・各部署、節水に取り組んだ ・雨水貯蔵タンクを設置し散水等への活用を行った	○	・節水に取り組む ・機器による水道水使用の削減を進める
2-(4)	排水処理装置の維持・運用	日常及び定期管理 基準超過0件 水質事故0件	・基準超過、水質事故共にゼロだった	○	日常及び定期管理 水質事故0件
2-(5)	排出量の削減	①電力使用量の削減 ・デマンド監視を行う ・エアコンフィルタの定期清掃 ・LED照明の購入検討 ・月1回の社員一斉退勤時の電力の削減 ・LED照明の採用検討	・エアコンの適正温度調整、デマンド監視を行う ・LED照明の一部設置 ・省エネについての社内教育実施	△	・デマンド監視を行う ・エアコンフィルタの定期清掃 ・LED照明設置完了 ・月1回の社員一斉退勤時の電力の削減
		②化石燃料消費量の削減 ・都市ガス/ガソリン/軽油	・各グループによる、エコドライブの啓発を実施した ・各車の燃費の見える化を進めた	○	・エコドライブ啓発活動（継続） ・ハイブリッド車や電気自動車の導入・運用検討
		③排出CO ₂	・CO ₂ 削減の見える化 ・EV並びに充電設備の導入×1件以上	△	・CO ₂ 削減の見える化（継続） ・EV並びに充電設備の導入×1件以上
2-(6)	グリーン購入の推進	・グリーン購入の啓発・実施	・エコ商品の購入（ビニール袋の縮小化）、脱プラの取り組みを行った	○	-
3	環境に関する取組の向上	・ホームページ等PR ・社内外の環境教育 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動 ・eco検定全員受験 ・脱プラに繋がる事務用品の導入	・ホームページ等PR ・社内外の環境教育の実施 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動を行った ・脱プラに繋がる事務用品の導入	○	・ホームページ等PR ・社内外の環境教育 ・環境関連施設の見学 ・社会貢献活動 ・eco検定全員受験 ・脱プラに繋がる事務用品の紹介
4	工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	現場での発生ゴミの適正分別、及び、低騒音型重機の使用を行った	○	・建設現場での環境配慮

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

凡例：●：該当する ■：努力義務がある ▲内部調査にて不適合発覚、すでに是正済 ×：該当なし

No	法令名称		判定	管理部署責任者	遵守状況確認・評価	
					チェック日	結果
1	環境基本法		■	総務グループ長	2022/7/15	○
2	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）		×	分析グループ長	2022/7/15	-
3	化管法（PRTR法）		●	分析グループ長	2022/7/15	○
4	労働安全衛生法		●	総務グループ長	2022/7/15	○
		●電離放射線障害防止規則	●	分析グループ長	2022/7/15	○
		●有機溶剤中毒予防規則	●	分析グループ長	2022/7/15	○
		●特定化学物質障害予防規則	●	分析グループ長	2022/7/15	○
5	毒物及び劇物取締法		●	分析グループ長	2022/7/15	○
6	消防法		●	総務グループ長	2022/7/15	○
	横浜市火災予防条例		●	総務グループ長	2022/7/15	○
7	高圧ガス保安法		●	分析グループ長	2022/7/15	○
8	フロン排出抑制法		●	総務グループ長	2022/7/15	○
9	地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）		■	総務グループ長	2022/7/15	○
10	エネルギーの使用合理化等に関する法律（省エネ法）		■	総務グループ長	2022/7/15	○
11	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）		●	総務グループ長 調査第一グループ長 分析グループ長	2022/7/15	○
12	PCB廃棄物特別措置法		■	総務グループ長	2022/7/15	○
13	資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）		■	総務グループ長	2022/7/15	○
14	容器包装リサイクル法		■	総務グループ長	2022/7/15	○
15	家電リサイクル法		●	総務グループ長	2022/7/15	○
16	小型家電リサイクル法		■	総務グループ長	2022/7/15	○
17	建設リサイクル法		●	調査第一グループ長	2022/7/15	○
18	食品リサイクル法		×	総務グループ長	2022/7/15	-
19	自動車リサイクル法 【全車リース使用】		×	総務グループ長	2022/7/15	-
20	水銀汚染防止法（水銀による環境の汚染の防止に関する法律）		●	総務グループ長	2022/7/15	○
21	自動車NOx・PM法		×	総務グループ長	2022/7/15	-
22	水質汚濁防止法（地下汚染含む）		●	分析グループ長	2022/7/15	○
	横浜市生活環境の保全等に関する条例		●	分析グループ長	2022/7/15	○
23	下水道法		●	分析グループ長	2022/7/15	○
	横浜市生活環境の保全等に関する条例		●	分析グループ長	2022/7/15	○
24	騒音規制法	横浜市生活環境の保全等に関する条例（騒音関係）	●	総務グループ長	2022/7/15	○
25	振動規制法	横浜市生活環境の保全等に関する条例（振動関係）	●	総務グループ長	2022/7/15	○
26	悪臭防止法	横浜市生活環境の保全等に関する条例（大気関係）	●	総務グループ長	2022/7/15	○
27	グリーン購入法		■	総務グループ長	2022/7/15	○
28	電気事業法		■	総務グループ長	2022/7/15	○
29	水道法		■	総務グループ長	2022/7/15	○

7. オオスミ環境等活動の概要-1



オオスミは、持続可能な環境や社会の構築に向け活動しています。



**オオスミ本社使用電力は
再生可能エネルギー100%となりました！**

◆CO₂排出量の削減を目的に、発電所を指定して電力供給を受けることのできる会社と契約。
秋田県八峰町峰浜風力発電所からの電力の供給を受けています。



◆今期のはじめに**太陽光発電**を本社屋上に設置。
本社で使用する電力の**約11%の自家発電**が可能となりました。

◆グリーンリカバリー設備投資補助金を活用してLED照明を導入しました。

社内教育

原油価格高騰対策と電力事情
及びオフィスの省エネ



脱炭素化に向けた社内教育

◆『我社のCO₂使用量削減に関する参考事例』を作成し、社内教育を行いました。



SDGsフェスイベントを開催しています。

SDGsフェスイベント『LOUD&PEACE 2022』を開催。
横浜を中心に環境のために活動するゲストスピーカーを
むかえ、「食と環境」をテーマにディスカッション等
を行いました。



畑プロジェクト

会社近くの畑を借りて皆で楽しみながら季節の
様々な野菜を育てています。
オオスミとして食について考える新たな機会を
広げています。

7. オオスミ環境等活動の概要-2



外周清掃

毎月1回本社の外周清掃を実施しています。地域住民の一員として、よりよい環境づくりに貢献したいと考えています。

環境絵画展

～私たちの未来の地球を守ろう～

小中学生を対象に未来の地球を守るための方法や未来の姿の絵画を募集し、優秀賞は外周のフェンスに展示しました。



使用済切手の寄贈を行っています



オオスミでは郵便物の使用済切手の回収を行い、「公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会」へ寄贈活動を行っています。収集した切手は、海外の保険医療事情向上のために役立てられています。

アクアリウムの設置

地域の自然を知っていただきたいと、川の生態を再現した、アクアリウムを受付近くに設置しました。



巣箱の設置

本社付近に生息する野鳥のため、巣箱の設置を行っております。主にシジュウカラが巣箱を利用しています。



環境分析の専門技術で社会に貢献するプロボノ活動（専門性を活かしたボランティア活動）を行っています。当社が参画している横浜都心部のまちづくりNPO法人HamaBridge濱橋会の「大岡川の水を徹底的に綺麗にするプロジェクト」では定期的に水質調査を行い、勉強会で環境調査・分析に関する講師を務めるなど、環境改善の「わ」を広げる活動を行っています。

プロボノ活動 @濱橋会



目黒町公園の清掃活動

本社前にある目黒町公園の草刈りと清掃活動を行っています。ひと月に1週間清掃の週を決め、昼休みの時間を使って活動しております。特に夏の時期には草刈り機も使ってみっちり活動しています！



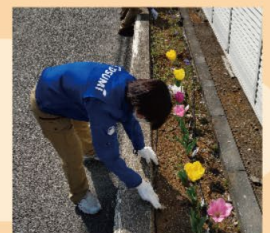
水のふるさと道志の森基金への寄付をおこなっています

オオスミ本社の飲料用自動販売機の売り上げの1%が『水のふるさと道志の森基金』に半年に1回寄付されます。『水のふるさと道志の森基金』は、道志の森を再生させる活動である『道志水源林ボランティア事業』に活用されています。



本社外周を緑化！～自然と触れ合う歩道～

オオスミ本社外周フェンス及び植え込み部分を活用し、自然と触れ合える花壇をつくりました。みんなで育てた苗を含め、ホウセンカ、ジニア、マリーゴールド、ゴーヤ、アサガオ、アジサイ、フウセンカズラなどを植えました。引き続き、明るい雰囲気道のづくりをすすめていきます。



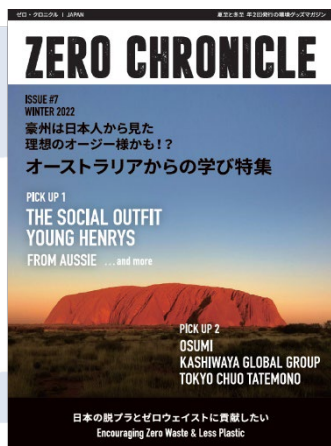
7. オオスミ環境等活動の概要- 3



脱プラスチックに関するオオスミの取組み

近年、プラスチックごみによる海洋環境や生態系への影響が懸念されています。オオスミでは、プラスチックの削減に取り組めます。

0号・1号・2号
3号・4号・5号・
6号・7号



ゼロ・クロニクル発行!

夏至・冬至の年2回発行

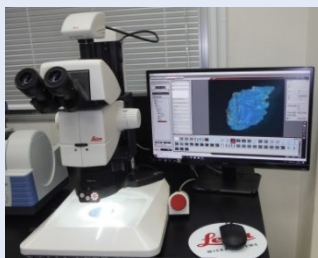
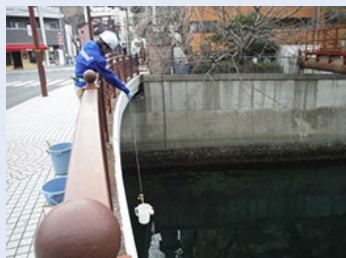
オオスミでは、『日本の脱・プラとゼロ・ウェイストに貢献したい』との想いで、環境マガジンZEROCHRONICLEを2019年6月から発行しています。



ZERO CHRONICLE 限定 デジタル版 **NEW**

マイクロプラスチック分析業務を行っています!

プラスチック汚染の現状把握に係わる、マイクロプラスチックの採取や分析業務を行っています。



脱ペットボトル自動販売機を設置!

ペットボトルを廃止し、缶のみの自動販売機を設置しています。また、水道直結ウォーターサーバーを導入。ロゴ付水筒を従業員で活用しています。



7. オオスミ環境等活動の概要-4



出前/オンライン授業を行っています！

環境教育の一環として「学校でできる省エネ」の講義や、保育園児たちとプラスチックの勉強をするなど、出前授業を行っています。その他、**SDGs授業**や**職業講和**等、次代を担う子どもたちを支援する活動を行っています。



お客様向け環境ウェビナーを開催しています！

環境関連分野の知識習得や技術の向上、新入社員教育や他部署から異動してきた方のための専門教育として等、外部に対してオオスミ環境セミナーを毎月開催しています。

【セミナー例】

- ・環境法令対策
- ・土壌汚染調査・対策セミナー
- ・アスベストのリスクセミナー
- ・PCB調査・対策セミナー
- ・環境分析に関するセミナー
- ・環境法令に関するセミナー
- ・材料解析セミナー
- ・省エネルギーセミナー など



環境特化型研修

『KAMA CLASS』を開催しました！

環境特化型の新人研修を一般公開し、社外向けに開催しました。

海岸でプラスチックごみを拾い重さを競うゲームや、エコ的教科見学、素敵な古民家で行うワークショップや座学を通じてエコやSDGsを学ぶ、丸1日の研修です。

7. オオスミ環境等活動の概要-5

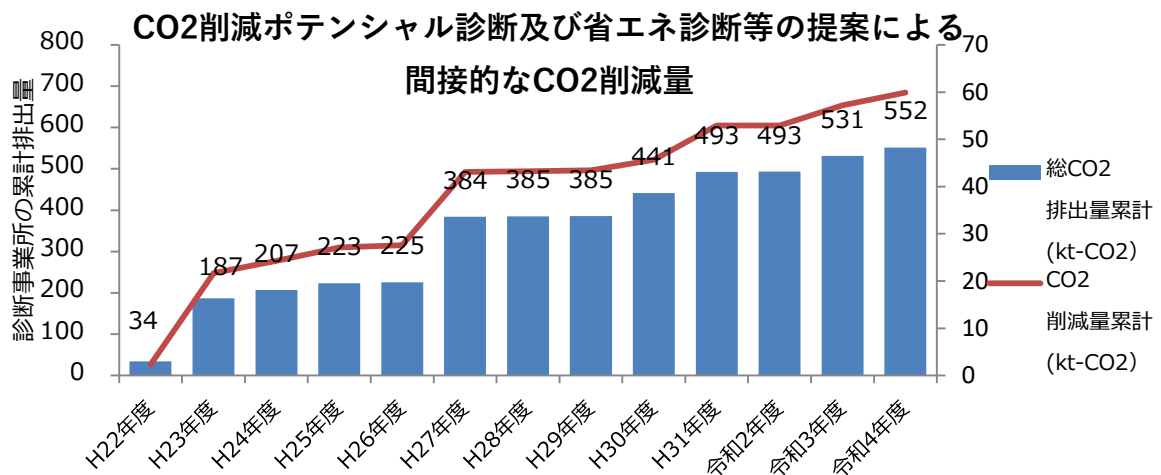


瀬谷西高校 SDGsプロジェクトに参加！

2022年度で完校になる瀬谷西高校で、SDGsを中心とした地域貢献活動を実施。地元企業として、海軍道路フラワーロードプロジェクトの花植えに協力したり、川プロジェクトで川の環境保全学習の支援を行いました。

間接的なCO₂削減量の算出

オオスミが行っている、CO₂削減ポテンシャル診断及び省エネ診断等の提案による間接的なCO₂削減量の算出を行いました。



【省エネに関わる登録・認定等】

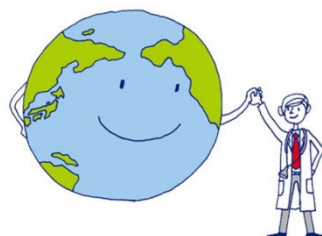
- 令和3年度工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（SHIFT事業） 支援機関 No.39
- 地球温暖化対策ビジネス事業者登録 EB-201164
- 東京都地球温暖化対策推進事業所 A4114-0001
- 埼玉県省エネ診断事業者登録 温対 第319-2号



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

オオスミのSDGsへの取り組み

私たちは地球のドクター



「私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」
をミッションとし、地球環境問題の解決に貢献することを目指しています。

私たちは、SDGsをミッションを果たすための中間指標とし、
全社員で目標を定め、オオスミの強みを活かすことで、持続可能な環境や社会の構築に貢献します。

オオスミの事業を通じたSDGsの貢献

	3 気候変動に 適応する	4 質の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレを 世界中に	7 再生可能エネルギーを 普及させる	8 豊かになる 働きがい	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくばない 消費を	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナーシップ で目標を達成しよう
水	○	○	○			○	○	○	○	○
土壌・残土	○	○	○			○	○	○	○	○
大気・空気	○	○	○			○	○			○
悪臭・臭気	○	○	○			○	○			○
PCB	○	○				○	○			○
騒音・振動	○	○				○				○
アスベスト	○	○				○	○			○
材料・製品		○			○		○			○
環境アセス	○	○	○			○		○	○	○
作業環境	○	○			○					○
自然環境	○	○	○			○		○	○	○
工場・建設環境	○	○	○		○	○	○	○		○
地球温暖化対策	○	○		○	○	○	○			○
受託・研究	○	○			○		○			○
環境部長®	○	○			○		○	○		○
マイクロプラスチック調査	○	○	○				○	○		○
ゆあらば®		○			○		○			○
環境の健康診断®	○	○					○	○		○



ロゴ・目標	オオスミのサービスとビジョン		
 3 すべての人に健康と福祉を	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・大気・空気調査 ・悪臭・臭気調査 ・PCBコンサルティング ・騒音・振動調査 ・アスベスト調査 ・環境アセスメント	・作業環境測定 ・自然環境調査 ・工場・建設環境 ・省エネ調査・対策 ・海外環境協力 ・受託・研究 ・環境部長® ・環境の健康診断®	各種公害系環境保全事業（大気、土壌、水質調査等）を通じて環境の現状、並びに潜在的な汚染の把握を行います。 また対策工事の実施により、さらなる環境の改善や汚染の拡大を未然に防ぎます。
 4 質の高い教育をみんなに	・各種セミナーの開催		企業や民間向けに各種セミナーや勉強会を開催し、環境面におけるリスク回避や新たな価値の創造を展開していきます。また海外からの技術者を受け入れ、技術指導、技術移転を図ることで、各国における環境改善を促進し、持続可能な社会の構築に貢献していきます。
 6 安全な水とトイレを世界中に	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・大気・空気調査 ・環境アセスメント	・自然環境調査 ・工場・建設環境 ・海外環境協力	世界中の誰もが安全な飲料水を手に入れることができるよう、工場排水の調査、分析を行うとともに、センサー技術を活用した水質監視システムを構築、展開していきます。また持続可能な水資源の利用を実現するため、水源地を含む一般環境水質の改善に取り組んでいきます。
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	・省エネ調査・対策 ・海外環境協力		事業所の省エネ調査において、設備更新のみならず運用改善等の提案によりエネルギー効率化を推進します。また温暖化ガス削減の観点から、お客様に再生可能エネルギーへの転換も提案し、企業価値向上に貢献していきます。
 8 働きがいも経済成長も	・材料解析 ・作業環境測定 ・工場・建設環境 ・省エネ調査・対策	・海外環境協力 ・受託・研究 ・環境部長® ・ゆあらば®	環境部長Rを通じて、事業所における環境法令の順守状況を把握するとともに、さらなる環境負荷低減へ向けお客様に寄り添い、より一層の企業価値向上のためのサポートを行います。また省エネ調査においては適切な設備運用を提案することで、最大の費用対効果を実現していきます。 ゆあらばや材料解析では、お客様の品質、生産効率向上のため、様々な問題解決に向けて専門的立場からアドバイスを行います。 労働環境については、特に東南アジアの諸国に対して、作業環境測定を通じて劣悪な作業環境の低減を展開していきます。
 11 住み続けられるまちづくりを	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・大気・空気調査 ・放射線量率測定 ・PCBコンサルティング ・騒音・振動調査	・アスベスト調査 ・環境アセスメント ・自然環境調査 ・工場・建設環境 ・省エネ調査・対策 ・海外環境協力	あらゆる技術を駆使して、レジリエントな社会の構築に貢献していきます。 特に環境アセスメントに関しては廃棄物関連、並びに再生可能エネルギー関連の事業に着目し、常に最新の情報や技術を取得することで、お客様の要望に応じてまいります。 建設工事や解体で発生した有害物質の含まれた土やPCBなどについても、適切な処理のため提案させていただきます。
 12 つくる責任 つかう責任	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・大気・空気調査 ・PCBコンサルティング ・アスベスト調査 ・材料解析	・工場・建設環境 ・省エネ調査・対策 ・海外環境協力 ・受託・研究 ・環境部長® ・ゆあらば® ・環境の健康診断®	省エネ調査ではエネルギーの効率化と再生可能エネルギーへの転換を促進することで、持続可能な資源管理に貢献していきます。またLCAやSCOPE3の観点からも、様々なご提案をさせていただくことで、廃棄物や温暖化ガスの排出削減に貢献していきます。
 14 海の豊かさを守ろう	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・環境アセスメント ・自然環境調査 ・マイクロプラスチック調査	・工場・建設環境 ・海外環境協力 ・環境部長® ・環境の健康診断®	特にマイクロプラスチック問題に着目し、最新の知見と技術に基づく改善提案を行うことで、海洋汚染の低減に貢献していきます。
 15 陸の豊かさを守ろう	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・環境アセスメント	・自然環境調査 ・海外環境協力	生物多様性の確保、持続可能な自然資源の活用という観点から調査、提案をさせていただきます。
 17 パートナリシップで目標を達成しよう	・教育 ・各分野における調査、分析、対策工事		オオスミは「モノ」ではなく「コト」に対して最適な対応を実現するため、多岐にわたる専門分野の会社とパートナーシップを結び、各種課題を解決していきます。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

「当社の事業そのものが環境改善に寄与する」というモチベーションを維持・継続しており、環境経営システムは有効に機能していると考えます。

今期末より新しいラボ棟が稼働するため、負荷の増加が考えられるが、会社全体の活動とあわせ、負荷を減らす仕組みを考えたい。

また、今後力をいれたいことは、気候変動問題への取り組みです。弊社自体のスコープ3を含む中小企業版SBT・RE100の取得を目指すとともに、自社の経験をいかし、他企業の脱炭素の実現のサポートができるようにしていきます。

外部向けの環境セミナーを行える講師の育成や全社員エコ検定合格も進めていきたいと考えています。自ら環境活動を行えば、お客様の気持ちがわかるので、どんどん行動しましょう。

(2) 見直しの結果

①コロナの影響が今年も引き続きあり、目標達成ができない商品もあったが、主力案件獲得を目指した結果、全社的に目標を上回った。

③水の使用量については、冷却循環装置を導入したことにより、大幅な削減に繋がった。雨水等の有効活用の検討を進めていく。

④ラボ棟を新設したことにより、電力使用量は増加している。しかし、本社使用電力は再生可能エネルギー100%となったことにより、昨年に引き続きCO2排出量は目標に対し66%削減を達成している。また、今期の最後に本社棟の照明をLEDにしたことにより、今後電力使用量の削減が見込まれる。引き続き、使用量の削減に努めましょう。

⑤環境への貢献に繋がる、社内外環境教育の機会が増加している。今後、環境教育の方針を作成していく。

⑥脱プラ活動の一環として、クリアファイル購入量0を目指す活動をはじめた。この活動をきっかけとして、社内の脱プラの取り組みを進めたい。

以上